

□講義科目(専門科目)

科目名	医療福祉経済論	2単位
担当者	二木 立(非常勤教員、日本福祉大学名誉教授)	
テーマ	医療・福祉の経済分析と政策研究の基礎	
科目のねらい	<p><キーワード> 医療経済学、医療政策研究、地域包括ケアと地域共生社会</p> <p><内容の要約> 本講義は院生が医療・福祉の経済分析の基礎知識・考え方を身につけることを目的としている。そのために、医療経済学の基礎(医療の経済的特性、医療の経済分析の手法等)とその応用(医療・福祉サービスと政策の経済的分析)を、主に私の著作や論文を用いて、経済学の基礎知識がない院生も理解可能なように、分かりやすく、具体例を交えて講義する。講義では、私の研究の結果だけでなく、テキストや論文に詳しくは書いていない、私が研究を始めた動機や研究途中の失敗談、研究ノウハウ等も紹介する。</p> <p><学習目標> ①医療・福祉に関する経済分析と政策研究の基礎的知識・考え方を理解する。 ②講義とレポート添削により、論文読解と論文執筆に必要な研究方法論を身につけることができる。 ③後半(第8～13回の6回)はゼミ形式で行うことにより、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につけることができる。</p>	
授業の進め方	<p>第1回 オリエンテーション、「医療経済学の将来」と研究者の政策形成への寄与 第2回 医療・介護サービスの経済的特性 第3回 医療・介護サービスの経済的特性(続き) 第4回 国民皆保険制度の社会経済的分析 第5回 医療効率と費用効果分析—地域・在宅ケアを中心として 第6回 医療技術と医療費への影響 第7回 特講:私の最新の研究テーマのうち、履修者・聴講者の一番希望の多いものを話す ※第8、9回はテキスト(2)を、第10～14回はテキスト(3)を用い「ゼミ形式」で行う(毎回受講者の1人がテキストの該当章について文書で報告し、討論) 第8回 医療政策の分析枠組み、医療政策の将来予測の視点と方法 第9回 私の医療経済・政策学研究の視点と方法、資料整理の技法 第10回 新型コロナウイルス感染症と医療改革 第11回 経済産業省主導の予防医療推進政策の複眼的検討 第12回 日本の病院の未来と地域医療構想 第13回 地域包括ケアと地域共生社会 第14回 医療経済・政策学の論点 第15回 レポート返却・講評、質疑応答</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>○毎回の授業前に、『講義資料集』とテキストの指定された個所を事前に読んでおくこと。 ○毎回授業の最後10分間に質問を受け付けるので、聞き逃したことやもっと詳しく聞きたいことを積極的に出すこと。 ○講義開始前の30分間を「オフィスアワー」とし、質問・相談を受け付ける(予約不要)。 ○今年度は、リアル講義とzoom講義を併用する(後者は主として大学院生以外の聴講者用)</p>	
テキスト	<p>(1)「2021年度『医療・福祉経済論』講義資料集」(テキスト(2),(3)以外の使用文献を収録)。 (2)二木立『医療経済・政策学の視点と研究方法』勁草書房,2006。 (3)二木立『コロナ危機後の医療・社会保障改革』勁草書房,2020。 (2)・(3)は各自、事前に購入する:(2)は品切れなので、書店または勁草書房に直接「オンデマンド出版」を注文するか、Amazon等で古書を購入する。</p>	
参考文献	<p>二木立『保健・医療・福祉複合体』医学書院,1998。 二木立『介護保険制度の総合的研究』勁草書房,2007。 二木立『地域包括ケアと地域医療連携』勁草書房,2015。 二木立『地域包括ケアと福祉改革』勁草書房,2017。 二木立『地域包括ケアと医療・ソーシャルワーク』勁草書房,2019。 二木立『医療経済・政策学の探究』勁草書房,2018。</p>	
成績評価 方法と基準	<p>講義出席点(50点満点)とレポート(50点満点)を総合して評価する。 ゼミ形式で行う第8～14回の報告者は20点加点。 レポートは第14回講義前にメールで私宛提出する。提出されたレポートは個別に添削・評価し、第15回講義前にメールで返却し、講評と質疑応答を行う。</p>	